

第 2 章

構造躯体の健全性の評価

1. 調査方法

平成 26（2014）年度に実施した国立市市有施設構造体劣化調査の結果を踏まえ、構造躯体の健全性の評価を行いました。

構造体劣化調査で対象とした施設は、本計画の対象施設のうち、鉄筋コンクリート造＊1の建築物です。

調査対象施設：52 施設 68 棟 延べ面積 103,294 m²

（1）調査内容

調査対象施設に対し、圧縮強度試験、中性化試験、鉄筋腐食度調査、鉄筋かぶり厚さについて調査を実施しました。

- ・コンクリートコア調査（1棟あたり原則 外部1か所、内部2か所）

圧縮強度試験＊2、中性化試験＊3

- ・鉄筋腐食度調査（1棟あたり原則 外部2か所、内部1か所）

鉄筋かぶり厚さの計測＊4、鉄筋径の計測、鉄筋腐食状況の診断

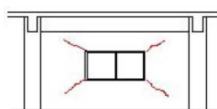
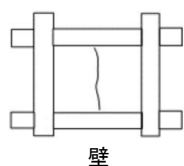
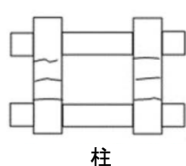
※耐震診断を過去 10 年以内に実施している建物は、新たにコンクリートコア調査を行わず、耐震診断時のデータを用いて評価します。

■ 構造躯体の健全性とは

建築物の使用年数の限界は、構造躯体の物理的な劣化による時期、あるいは社会的・技術的な変化により機能・性能の相対的な価値が失われる時期が考えられます。長寿命化において、構造躯体の耐用年数まで使い続けることを目指す場合、構造躯体が健全であることを確認する必要があります。

鉄筋コンクリートに生じる劣化には、①コンクリートの変質・組織崩壊・ひび割れ・欠けなどのコンクリート自身の劣化と、②鉄筋の腐食とに大別できます。

通常、これらの劣化現象は単独で発生しますが、個々の劣化現象は互いに助長しあう関係にあります。例えば、鉄筋がコンクリートの中性化や塩分の侵入によって腐食すると、コンクリートのひび割れや剥落などの劣化を招きます。また、コンクリートに組織崩壊やひび割れが生じると、鉄筋の腐食が促進されます。



コンクリートのひび割れ



コンクリートの中性化深さ

（資料：文部科学省「学校施設の長寿命化改修の手引」平成 26 年 1 月）

＊1 **鉄筋コンクリート造**：鉄筋の性質である容易に破断しない粘り強さ（靱性）と引張強度、セメントと骨材（砂及び砂利）を水と混ぜたコンクリートがもつ高い圧縮強度を併用した構造であり、国立市の公共施設の大半を占める。

＊2 **コンクリート圧縮強度**：設計時に基準となる強度（設計基準強度）を決め、構造計算を行う。施工時に設計基準強度が確保できているかを検査する。1N/mm²とは1m²当り約100トン の圧力まで耐えられることを示す。一般に高強度のコンクリートほど供用期間が長く、「建築工事標準仕様書・同解説JASS 5 鉄筋コンクリート工事」（日本建築学会 2009年）において計画供用期間の級とコンクリート圧縮強度の関係が示された。

＊3 **コンクリート中性化**：経年によりコンクリート内部のアルカリ成分が失われること。中性化の進む深さは時間の平方根に比例する。コンクリート中性化が進行すると内部の鉄筋が錆びやすい状況になる。

＊4 **鉄筋かぶり厚さ**：コンクリートの表面から鉄筋表面までの距離のこと。耐久性及び強度を確保するために必要であり、寸法は部位により異なるが、20mm～70mmの範囲で法令等により規定されている。

耐力壁以外の壁・床：20mm以上、耐力壁・柱・梁：30mm以上、基礎：60mm以上

2. 評価方法

評価にあたり、他市の事例や文部科学省の耐力度調査等と比較検討しました。

(1) 他市等の事例

① 名古屋市の構造体評価

名古屋市では、構造体より4種類のコンクリート供試体（コア）を採取し、中性化・圧縮強度、鉄筋腐食、塩化物量の結果から今後の残存年数（40年以上・20年以上・20年未満）を判定しています。

① 劣化度判定

1) 鉄筋腐食

はつり調査でコンクリートをはつり取り、露出した鉄筋を目視で腐食のグレードを判断します。グレードⅠおよびⅡの状態では、コンクリートの一体性は確保されているが、グレードⅢ以上となると、生成したさびに起因する膨張圧によって、コンクリートにひび割れや剥離が生じます。このため、グレードⅢまたはⅣの場合を有害な腐食と判断します。

$$\bar{\alpha} = \frac{\sum_{i=1}^{i=IV} \alpha_i n_i}{\sum_{i=1}^{i=IV} n_i} \quad \begin{array}{l} \alpha_i : \text{グレード } i \text{ の評点} \\ n_i : \text{グレード } i \text{ の鉄筋数} \end{array}$$

2) コンクリートの中性化

はつり調査で中性化深さを測定することにより、劣化度を判定します。

区分A1は鉄筋腐食の可能性が全くない段階、A2は少し可能性が出てきた段階であり、A3はかなりの割合で鉄筋の腐食が始まった段階です。

表3 中性化深さの測定値による区分

分類	診断基準(中性化深さ[mm])	
	屋外	屋内
A1	測定値<0.5D	測定値<0.7D
A2	0.5D≤測定値<D	0.7D≤測定値<D+20
A3	D≤測定値	D+20≤測定値

D：設計かぶり深さ最小値

3) コンクリート圧縮強度

圧縮強度による劣化度は右表のとおり判定します。

各階において、3本以上採取している場合は、各階ごとの圧縮強度 α 平均値から標準偏差 σ の1/2を差し引いた推定強度 σ_B を用います。3本未満の場合は、各階の圧縮強度 F_{min} を用います。各階のコンクリート圧縮強度による劣化度のうち、最大の劣化度をコンクリート圧縮強度による劣化度とします。

表 構造体耐久性評価

		鉄筋腐食による劣化度			
		I	II	III	IV
コンクリートによる劣化度	I	区分1	区分1	区分3	区分3
	II	区分1	区分1	区分3	区分3
	III	区分1	区分1	区分3	区分3
	IV	区分2	区分2	区分3	区分3

表1 鉄筋腐食の2次診断の劣化度区分

	劣化度	区分の基準
I	ほとんどなし	$0 \leq \bar{\alpha} < 1$
II	軽度	$1 \leq \bar{\alpha} < 3$
III	中度	$3 \leq \bar{\alpha} < 4.5$
IV	重度	$4.5 \leq \bar{\alpha} \leq 6$

表2 中性化速度による判断基準

分類	診断基準(中性化深さ[mm])
B1	測定値<0.5×計算値
B2	$0.5D \times \text{計算値} \leq \text{測定値} < 1.5 \times \text{計算値}$
B3	$1.5 \times \text{計算値} \leq \text{測定値}$

表4 中性化による劣化度

	B1	B2	B3
A1	I(なし)	II(軽度)	III(中度)
A2	II(軽度)	III(中度)	IV(重度)
A3	IV(重度)	IV(重度)	IV(重度)

表5 圧縮強度による劣化度

劣化度	判定基準
I(なし)	設計基準強度比100以上
II(軽度)	設計基準強度比100未満のコマがあり、かつ $\sigma_B \geq \text{診断強度}$ (採取コマ数が3本未満の場合は $F_{min} \geq \text{診断強度}$)
III(中度)	診断強度 $> \sigma_B \geq 13.5\text{N/mm}^2$
IV(重度)	$13.5\text{N/mm}^2 > \sigma_B$

表 残存耐用年数の区分

区分	残存耐用年数
区分1	40年以上(築80年以上)
区分2	20年以上(築60～80年以上)
区分3	20年未満(築60年未満)

点数は 10,000 点満点で、鉄筋コンクリート造では 4,500 点以下（木造の場合は 5,500 点以下）で改築の補助金対象となります。

(2) 評価方法

構造体の劣化状況調査における、コンクリート圧縮強度、コンクリート中性化、鉄筋腐食度及び目視調査の結果を基に、長寿命化の可否を80年以上、60～80年、60年未満の3段階で判定します。

構造体の劣化状況調査における、コンクリート圧縮強度、コンクリート中性化、鉄筋腐食度及び目視調査の結果を基に、長寿命化の可否を3段階で判定します。評価にあたり、他市の事例や文部科学省の耐力度調査等と比較検討し、次の方法としました。

① 鉄筋の腐食度

鉄筋腐食度を右表による4段階で評価します。

② コンクリート圧縮強度

コンクリート圧縮強度が設計基準強度を満たしているかを判別します。圧縮強度は、平均値を用い、新たな調査結果と耐震診断時の結果を比較し低い方の値を用います。

③ コンクリート中性化深さ

コンクリート中性化の進行は一般に経過年数の平方根に比例し、次式であらわされます。

これより中性化係数を求め、これと鉄筋かぶり厚さの最小値から目標使用年数を求めます。

④ 目視調査

外壁等を目視調査することで、鉄筋露出、ひび割れ等の顕著な劣化の有無を評価します。

■ 長寿命化の条件

①～④の手順を右の長寿命化判定フローに示します。整理すると、80年以上使用可能と判断される建物は次の条件に当てはまるものになります。

- 鉄筋腐食度がグレードⅠまたはⅡの建物
- 圧縮強度が設計基準強度以上の建物
- 中性化が鉄筋かぶり厚さまで進行するまで築80年以上かかる建物
- 目視調査により顕著な劣化が認められない建物、または躯体修繕の上、80年以上使用できるもの

鉄筋の腐食度判定

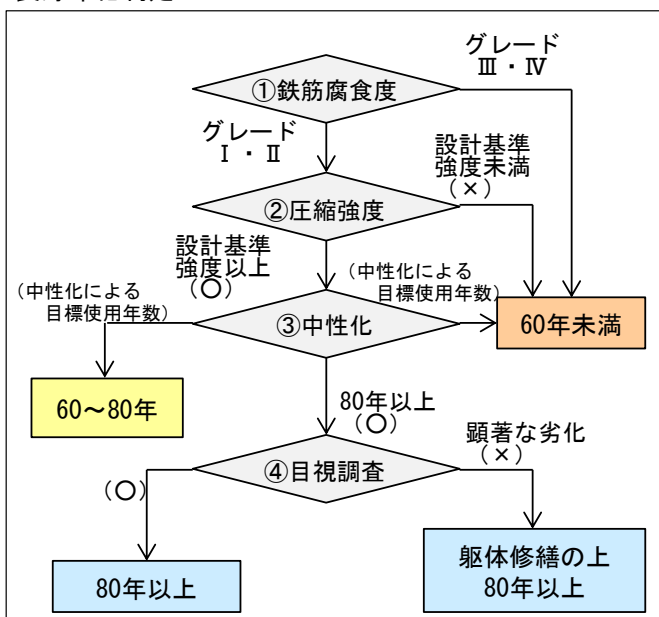
グレード	基準
Ⅰ	黒皮の状態、又は錆は生じているが全体的に薄い緻密な錆であり、コンクリートに錆が付着していない。
Ⅱ	部分的に浮き錆はあるが、小面積の斑点状である。
Ⅲ	断面欠損は目視では認められないが、鉄筋の全周辺又は全長に浮き錆が生じている。
Ⅳ	断面欠損が生じている。

出典：建築物修繕措置判定手法

中性化の理論式（JASS 5 2009年版）

$C = A \cdot \sqrt{t}$	C：中性化深さ（mm）
$A = C \div \sqrt{t}$	A：中性化係数
	t：経過年数（年）
目標使用年数 $T = (d \div A)^2$	d：鉄筋かぶり厚さ（mm）の最小値

長寿命化判定フロー



3. 評価結果

3段階で評価した目標使用年数から施設の築年数を差し引いて、残存耐用年数（参考値）を算出しました。各施設の調査結果と構造体評価並びに残存耐用年数（参考値）の一覧を示します。

国 立 市 有 施 設 一 覧（保全対象施設）										構造体調査結果及び評価														
No.	施設名	所在地	建設年		延床面積 (㎡)	構造	階数 (地上／地下)	耐震診断	補強の有無	① 鉄筋の腐食度	② コンクリート 圧縮強度 (N/mm2)			③ コンクリート中性化深さ					④ 目視調査	目標 使用年数 ⑦	経過 年数 ⑧	（残 参考 耐 用 年 数 ⑨ ⑦-⑧ 又は ⑦-⑩）		
			西 暦	和 暦							設計強度	圧縮強度の 平均値	評価	調査年	経過 調査 年数	中性化深さ (t)	かぶり厚さ (C)	中性化による 使用年数 (d)					中性化による 使用年数 (T)	
1	① 市役所庁舎	富士見台2-47-1	1977	昭52	8,578	RC、一部SRC（講堂）	3/1、PH1	済	有	I	20.6	20.0	×	2007	30	3.54	41.0	○		60年未満	43	17年		
	② 庁舎倉庫		1980	昭55	792	RC	2/1	済	無	II	20.6	39.0	○	2009	29	2.53	30.0	○	漏水跡	躯体修繕の上80年以上	40	40年		
2	国立駅前にたち・こくぶんじ市民プラザ	北1-14-1	2018	平30	266	S	1/0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60年	2	58年			
3	消防団第一分団器具置場	青柳2-8-60	1987	昭62	79	RC	2/0	—	—	I	20.7	48.3	○	2014	27	2.80	60.0	○		80年以上	33	47年		
4	消防団第二分団器具置場	谷保6208-3	1984	昭59	80	RC	2/0	—	—	I	20.6	43.6	○	2014	30	5.30	39.0	○	爆裂	躯体修繕の上80年以上	36	44年		
5	消防団第三分団器具置場	谷保5913-1	1985	昭60	79	RC	2/0	—	—	I	20.6	36.3	○	2014	29	9.40	57.0	○		80年以上	35	45年		
6	消防団第四分団器具置場	谷保5112-4	1981	昭56	76	RC	2/0	済	無	I	20.6	38.0	○	2013	32	15.60	47.0	○	コンクリートふくれ	躯体修繕の上80年以上	39	41年		
7	消防団第五分団器具置場	東3-7-1	2018	平30	88	S	2/0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60年	2	58年			
8	消防団第六分団器具置場	北2-38-6	2015	平27	68	S	1/0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60年	5	55年			
9	① 清掃分室（管理棟）	泉3-31-5	1980	昭55	355	RC	2/0	未	—	I	20.6	45.8	○	2014	34	5.70	48.0	○	コンクリート劣化	躯体修繕の上80年以上	40	40年		
	② 清掃分室（車庫）	泉3-31-5	1980	昭55	231	LS	1/0	未	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40年	40	0年			
10	環境センター（処理棟）	谷保6-26-17	1988	昭63	1,473	S,RC	2/0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60年	32	28年			
11	環境センター（管理棟）	泉5-27-5	1988	昭63	150	S	2/0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60年	32	28年			
12	環境センター（不燃ごみストックヤード）	泉5-27-5	2009	平21	235	S	1/0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60年	11	49年			
13	① 校舎棟（北）	谷保6026	1965	昭40	2,683	RC	3/0	済	有	II	18.0	26.4	○	2014	49	4.70	14.0	○		80年以上	55	25年		
	② 校舎棟（西）		1967	昭42	1,297	RC	3/0	済	有	I	18.0	26.4	○	2014	47	4.70	26.0	○		80年以上	53	27年		
	③ 屋内運動場		1974	昭49	716	RC一部S	2/0	済	有	I	17.7	29.0	○	2006	32	9.38	42.0	○		80年以上	46	34年		
14	① 国立第二小学校 校舎棟	西2-13	1963	昭38	4,442	RC	3/0	済	有	II	17.6	22.4	○	2004	41	39.20	28.0	×		60年未満	57	3年		
	② 屋内運動場		1970	昭45	820	RC一部S	2/0	済	有	I	17.7	32.4	○	2006	36	8.40	35.0	○		80年以上	50	30年		
15	① 国立第三小学校 校舎棟	東4-24-1	1973	昭48	5,080	RC	4/0	済	有	II	17.6	17.8	○	2014	41	10.90	43.0	○		80年以上	47	33年		
	② 屋内運動場		1976	昭51	913	RC一部S	2/0	済	有	II	20.6	30.3	○	2005	29	8.87	10.0	×		60年未満	44	16年		
16	① 国立第四小学校 校舎棟	北2-29	1970	昭45	4,312	RC	3/0	済	有	II	17.6	22.8	○	2014	44	0.90	45.0	○		80年以上	50	30年		
	② 屋内運動場		1974	昭49	870	RC一部S	2/0	済	無	II	17.6	20.7	○	1996	22	10.20	21.0	○		80年以上	46	34年		
17	① 国立第五小学校 校舎棟	富士見台2-47-2	1965	昭40	4,451	RC	3/0	済	有	III	17.6	27.7	○	1997	32	4.34	32.0	○	鉄筋腐食	60年未満	55	5年		
	② 屋内運動場		1971	昭46	789	RC一部S	2/0	済	有	II	17.7	24.4	○	2006	35	8.50	60.0	○		80年以上	49	31年		
18	① 校舎棟（東）	谷保6600	1970	昭45	3,010	RC	3/0	済	有	II	17.6	14.5	×	2003	33	20.11	13.0	×		60年未満	50	10年		
	② 校舎棟（西）		1972	昭47	1,750	RC	3/0	済	有	II	18.0	18.7	○	2014	42	15.66	40.0	○		80年以上	48	32年		
	③ 屋内運動場		1971	昭46	789	RC一部S	2/0	済	有	I	17.7	23.1	○	2006	35	7.70	11.0	71年		60年以上80年未満	49	22年		

なお、ここに示すのは、公共施設の構造体の老朽化状況を把握するために行った調査・評価であるため、実際の修繕・改修・建替えにあたっては適宜追加調査する場合があります。

国 立 市 有 施 設 一 覧 (保全対象施設)										構造体調査結果及び評価													
No.	施設名	所在地	建設年		延床面積 (㎡)	構造	(地上/地下)	耐震診断 階数	補強の有無	① 鉄筋の腐食度	② コンクリート 圧縮強度 (N/mm2)			③ コンクリート中性化深さ					④ 目視調査	目標使用年数 ⑦	経過年数 ⑧	(残存耐用年数 参考) ⑨-⑩ 又は (T)-⑩	
			西暦	和暦							設計強度	圧縮強度の 平均値	評価	調査年	経過調査年数 (t)	中性化深さ (C)	かぶり厚さ (d)	中性化に よる使用年数 (T)					
19	国立第七小学校	校舎棟(西)	1972	昭47	3,027	RC	4/0	済	有	Ⅱ	20.6	19.5 (N/mm2)	×	2001	29	21.73 (mm)	19.0 (mm)	×		60年未満	48	12年	
		校舎棟(東)	1976	昭51	1,920	RC	4/0	済	有	I	20.6	45.8	○	2014	38	0.10	15.0	○		80年以上	44	36年	
		屋内運動場	1973	昭48	893	RC一部S	2/0	済	有	Ⅱ	17.6	32.5	○	2013	40	15.80	20.0	64年		60年以上80年未満	47	17年	
20	国立第八小学校	校舎棟及び屋内運動場	1978	昭53	5,247	RC一部S	3/0	済	有	I	20.6	31.7	○	2014	36	1.50	35.0	○		80年以上	42	38年	
21	国立第一中学校	校舎棟	1971	昭46	4,804	RC	4/0	済	有	Ⅱ	17.6	20.4	○	1999	28	25.30	37.0	×		60年未満	49	11年	
		特別教室棟(渡り廊下棟含む)	1962	昭37	1,156	RC	3/0	済	有	Ⅱ	18.0	11.9	×	2014	52	8.70	12.0	○		60年未満	58	2年	
		屋内運動場	1969	昭44	880	RC一部S	2/0	済	有	Ⅱ	18.0	35.8	○	2006	37	10.30	10.0	×		60年未満	51	9年	
		特別支援学級棟	1985	昭60	411	RC	2/0	—	—	I	20.6	33.4	○	2014	29	6.80	33.0	○		80年以上	35	45年	
22	国立第二中学校	校舎棟	1969	昭44	3,808	RC	3/0	済	有	Ⅱ	17.7	19.9	○	2008	39	21.60	27.0	61年		60年以上80年未満	51	10年	
		特別教室棟(渡り廊下棟含む)	1963	昭38	1,258	RC	3/0	済	有	I	17.7	20.0	○	2006	43	13.54	32.0	○		80年以上	57	23年	
		屋内運動場	1969	昭44	880	RC一部S	2/0	済	有	I	17.7	18.8	○	2006	37	6.60	32.0	○		80年以上	51	29年	
23	国立第三中学校	校舎棟	1975	昭50	4,740	RC	4/0	済	有	I	20.6	28.5	○	2014	39	2.00	46.0	○		80年以上	45	35年	
		特別教室棟(渡り廊下棟含む)	1975	昭50	1,289	RC	3/0	済	無	—	—	—	—	—	—	—	—	—		80年以上	45	35年	
		屋内運動場	1975	昭50	1,129	RC一部S	2/0	済	有	Ⅱ	20.6	24.3	○	2003	28	6.60	65.0	○		80年以上	45	35年	
24	学校第一給食センター	富士見台2-47-3	1968	昭43	890	RC	2/1	済	無	Ⅱ	17.6	26.6	○	2011	43	17.80	17.0	×		60年未満	52	8年	
25	学校第二給食センター	富士見台2-47-4	1975	昭50	673	RC	2/0	済	無	Ⅱ	20.6	24.4	○	2011	36	12.30	52.0	○		80年以上	45	35年	
26	くにたち中央図書館	富士見台2-34	1974	昭49	1,511	RC	3/1	済	有	Ⅱ	20.6	22.0	○	2011	37	2.30	24.0	○		80年以上	46	34年	
27	国立市公民館	中1-15-1	1979	昭54	1,590	RC	3/1	済	無	Ⅱ	20.6	25.7	○	2011	32	3.60	16.0	○		80年以上	41	39年	
28	くにたち市民総合体育館	富士見台2-48-1	1982	昭57	6,124	RC一部 屋根のみS	4/2	済	有	Ⅱ	20.6	34.2	○	2012	30	20.30	17.0	×		60年未満	38	22年	
29	くにたち市民芸術小ホール	富士見台2-48-1	1987	昭62	3,217	RC、一部S	3/1	—	—	I	20.6	29.3	○	2014	27	10.00	52.0	○		80年以上	33	47年	
30	くにたち郷土文化館	谷保6231	1994	平6	2,182	RC、一部S	1/1	—	—	I	20.6	33.2	○	2014	20	23.40	20.0	×		60年未満	26	34年	
31	くにたち福祉会館	富士見台2-38-5	1992	平4	4,609	RC	5/1	—	—	Ⅱ	20.6	26.1	○	2014	22	17.70	57.0	○		80年以上	28	52年	
32	くにたち立東福祉館	北3-23-1	1973	昭48	208	RC	2/0	済	無	Ⅱ	20.6	26.6	○	2012	39	5.05	53.0	○		80年以上	47	33年	
33	西福祉館	西2-17-32	1976	昭51	336	RC	2/0	済	無	I	20.6	32.2	○	2011	35	3.72	31.0	○		80年以上	44	36年	
34	青柳福祉センター	青柳2-8-60	1975	昭50	607	RC	2/0	済	無	I	20.6	25.5	○	2011	36	8.30	57.0	○		80年以上	45	35年	
35	東福祉館	東3-18-32	1979	昭54	447	RC	2/0	済	有	I	20.6	33.9	○	2013	34	9.00	51.0	○		80年以上	41	39年	
36	北福祉館	北2-19-1	1980	昭55	343	WRC	2/0	済	無	I	20.6	31.8	○	2013	33	7.50	58.0	○		80年以上	40	40年	
37	なかよし保育園	富士見台2-46	1966	昭41	775	RC	2/0	済	有	Ⅱ	18.0	32.4	○	2009	43	5.85	18.0	○		80年以上	54	26年	

構造体評価

※ 中性化：長寿命化判定フローにおいて、中性化深さによる目標使用年数が80年未満の施設については中性化理論式から算出した目標使用年数を表記
「60年未満」の施設の残存耐用年数は、目標使用年数60年から経過年数（令和2（2020）年基準）を差し引いた年数
「60年～80年」の施設の残存耐用年数は、中性化による目標使用年数から経過年数（令和2（2020）年基準）を差し引いた年数
※ 圧縮強度：長寿命化判定フローにおいて、圧縮強度の平均値が設計基準強度に満たない施設は「×」としている

国 立 市 有 施 設 一 覧（保全対象施設）											構造体調査結果及び評価													
No.	施設名	所在地	建設年		延床面積 (㎡)	構造	階数 (地上／地下)	耐震診断	補強の有無	① 鉄筋の腐食度	② コンクリート圧縮強度 (N/mm2)			③ コンクリート中性化深さ					④ 目視調査	目標使用年数 ⑦	経過年数 ⑧	残存耐用年数 (参考) ⑦-⑧ 又は ⑦-①		
			西暦	和暦							設計強度	圧縮強度の 平均値	評価	調査年	経過年数 (t)	中性化深さ (C)	かぶり厚さ (d)	中性化に よる使用年数 (T)						
38	西保育園	富士見台3-45-1	1975	昭50	600	RC	2/0	済	無	I	20.6 (N/mm2)	19.0	×	2008	33	6.10	22.0	○		60年未満	45	15年		
39	東保育園	富士見台1-45-17	1978	昭53	686	RC	2/0	済	有	II	20.6	41.3	○	2008	30	4.00 (mm)	31.0 (mm)	○		80年以上	42	38年		
40	東学童保育所	東4-28	2010	平22	241	LS	1/0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40年	10	30年		
41	南学童保育所	富士見台1-47-7	2002	平14	200	LS	1/0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40年	18	22年		
42	北学童保育所	北2-29	1991	平3	139	LS	1/0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40年	29	11年		
43	① 本町学童保育所	谷保6017	1991	平3	159	LS	1/0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40年	29	11年		
	② 本町学童保育所増築棟	谷保6017	2016	平28	178	LS	1/0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40年	4	36年		
44	① 中央学童保育所 ② 中央児童館 (くにたち福祉会館内)	富士見台2-38-5	1992	平4	福祉会館 を含む	RC	5/1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28			
45	矢川児童館	富士見台4-17-1	1971	昭46	393	RC一部S	2/0	済	有	I	20.6	31.7	○	2011	40	1.20	22.0	○		80年以上	49	31年		
46	西児童館	西1-12-26	1983	昭58	563	RC	2/0	—	—	I	20.6	35.3	○	2014	31	9.10	36.0	○		80年以上	37	43年		
47	くにたち心身障害者通所 訓練施設あすなろ	富士見台1-44-1	1975	昭50	278	RC	1/0	済	無	I	17.6	18.9	○	2010	35	31.40	26.0	×	漏水	60年未満	45	15年		
48	国立市障害者センター	富士見台2-1-32	1984	昭59	745	RC	3/0	—	—	II	20.6	31.5	○	2014	30	15.90	55.0	○	漏水、鉄筋錆汁	躯体修繕の上80年以上	36	44年		
49	① 国立市保健センター ② (発達支援室含む)	富士見台3-16-5	1981	昭56	1,623	RC	3/1	済	無	II	20.6	31.9	○	2010	29	5.95	17.0	○		80年以上	39	41年		
50	① 子ども家庭支援センター ② 国立市教育センター (国立市保健センター分室)	富士見台3-21-1	1974	昭49	447	RC	2/0	済	無	II	20.6	20.9	○	2010	36	6.65	22.0	○		80年以上	46	34年		
51	中平地域防災センター	谷保6087-1	1981	昭56	159	RC	2/0	済	無	I	20.6	43.1	○	2013	32	6.60	29.0	○		80年以上	39	41年		
52	東地域防災センター	東1-13-13	1983	昭58	243	RC	2/0	—	—	II	20.6	31.3	○	2014	31	6.40	18.0	○		80年以上	37	43年		
53	下谷保地域防災センター	谷保5066	1985	昭60	260	RC	2/0	—	—	I	20.6	29.9	○	2014	29	1.60	34.0	○	爆裂、鉄筋錆汁	80年以上	35	45年		
54	富士見台地域防災センター	富士見台3-13-5	1986	昭61	230	RC	2/0	—	—	I	20.6	28.7	○	2014	28	3.70	40.0	○	爆裂(小)	80年以上	34	46年		
55	中地域防災センター	中2-10-7	1989	昭64	253	RC	2/0	—	—	I	20.6	22.2	○	2014	25	14.40	34.0	○		80年以上	31	49年		
56	千丑集会所	谷保7190-4	1986	昭61	134	RC	2/0	—	—	I	20.6	38.9	○	2014	28	2.60	32.0	○		80年以上	34	46年		
57	坂下集会所	谷保749-2	1991	平3	155	RC	2/0	—	—	I	20.6	36.8	○	2014	23	6.70	42.0	○		80年以上	29	51年		
58	石神集会所	谷保7103-2	1991	平3	159	RC	2/0	—	—	II	20.6	36.5	○	2014	23	13.90	19.0	×		60年未満	29	31年		
59	谷保東集会所	谷保7-17-1	1992	平4	196	RC	2/0	—	—	I	20.6	27.5	○	2014	22	10.00	36.0	○		80年以上	28	52年		
60	富士見台二丁目集会所	富士見台2-32-1	1997	平9	190	RC	2/0	—	—	II	20.6	30.9	○	2014	17	9.40	18.0	62年		60年以上80年未満	23	39年		
61	一本松公会堂	谷保4130	2015	平27	126	LS	1/0	済	無	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40年	5	35年		
62	四軒在家福祉館	谷保6775	1974	昭49	168	RC	2/0	済	無	I	20.6	22.1	○	2013	39	4.10	17.0	○		80年以上	46	34年		
63	久保公会堂	谷保6256-8	1975	昭50	141	RC	2/0	済	無	II	20.6	38.4	○	2013	38	2.10	21.0	○		80年以上	45	35年		
64	国立駅南第1自転車駐車場	中1-1-46	2017	平29	3,989	S	2/1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60年	3	57年		
65	城山さとのいえ	泉5-21-20	2014	平26	132	W	1/0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60年	6	54年		